

『鷲ノ巣池と三倉谷池』 ～山中に残る先人の思い～

実施内容と
ツアーのポイント

三重県南牟婁郡御浜町阪本はなだらかな斜面に棚田が広がる美しい集落です。しかし集落の四方を囲む山々は急峻で岩場が多いことから、雨が降ってもすぐに流れてしまうため、用水に乏しく稲作の時期になると困苦していました。

江戸時代末期のことです。阪本の庄屋、小原源七郎はなんとかしてこの窮状を救いたいと考え、地元民に諮った結果、標高807mの鷲ノ巣山の650mの地点に溜池を作ることになりました。そして紀州藩の裁可を得て、藩から派遣された世話役人白井久蔵をはじめ、大庄屋、木本代官なども参画した大規模な土木工事となりました。谷を堰き止め膨大な数の石を3段に積み上げた、高さ10数mの基礎による堤は、長さ約30mにもおよびます。奥行きが約50m、水深約5mの自然の地形を利用して造られた鷲ノ巣池が半年を費やして天保9年4月に完成しました。



鷲ノ巣池を訪れると、この池にこめられた人々の切なる思いの深さや期待の重み、平地が無い岩場の急斜面に石を一つひとつ積み上げる作業が計り知れない労力だったであろうことが感じられます。そして160年余りの時を経た今も、池はどっしりと保たれています。

鷲ノ巣池が完成した7年後の弘化2年9月、鷲ノ巣池の下流部に三倉谷池が造られました。この池は堤の長さ36m、奥行き54m、深さ3mで工事には延べ1万2,390人の人夫を要しました。二つの池の完成後、阪本の耕地は積年の水不足から解消されて豊かな耕地を持つ集落となりました。

今回は阪本に住んでいる亀田昭治さんの案内で、三倉谷池と鷲ノ巣池を見学した後、阪本集落を見下ろせる見渡畠を訪れます。



■実施日

平成20年3月22日(土) 雨天の場合は翌日23日(日)に延期

■集合

9:00 折山神社駐車場(三重県南牟婁郡御浜町阪本)

■行程

9:00～9:15 集合、オリエンテーション
9:15～9:30 折山神社見学
9:30～9:50 三倉谷池へ車で移動、見学
9:50～10:10 岩洞院へ移動、小原源七郎顕彰碑見学
10:10～12:00 鷲ノ巣池まで歩行(山道を登ります)
12:00～13:00 鷲ノ巣池着、池周辺の見学後昼食
13:00～13:50 見渡畠まで歩行
13:50～14:00 見渡畠着、休憩
14:00～15:30 下山
15:30～15:45 横垣峠、妙見山登り口着後、車で折山神社駐車場へ移動
15:45～16:00 ミーティング後、解散
(歩く速度などにより、時間が多少前後します)

■募集人数

6名様(お申し込み多数の場合は3月4日(火)に抽選で決めさせていただきます。お二人以上で一緒に参加ご希望の場合はグループで一人として抽選します。)

■お申込締切り

3月3日(月)

■参加費

3,500円

【指導料、傷害・賠償保険代、実施経費の一部(現地調査費、通信費等)】

■持ち物

昼食、飲み物、雨具、ストック(杖)など各自必要なもの

■ガイド

亀田昭治氏(三重県南牟婁郡御浜町)

■ご注意

- ・鷲ノ巣池への山道は、急な登りを1時間以上歩行します。また滑りやすいところもあり健脚向けのコースとなっています。参加される方は必ず登山靴をはいて下さい。
- ・この企画は、会員制の「熊野を楽しむ達人の会」規約に基づき、参加者が自己責任において任意で参加していただくものです。万一の事故などに対する補償は加入する国内旅行保険の範囲内で対処しますが、保険の範囲外での責任は負いません。ご同意の上、お申し込みください。

◇お申し込み方法 ([参加申込書はこちら](#))

この講座は「熊野を楽しむ達人の会」の会員のためのプログラムです。

【会員の方】注意事項などをご確認の上、事務局まで郵便、ファックスまたはEメールで参加をお申し込みください。お電話でのお申し込みはご遠慮ください。

【会員でない方】「熊野を楽しむ達人の会」の会員登録が必要です。詳しくは事務局までお問い合わせください。